

# 武雄市 新・創造的復興プラン

## 気候変動に対応した、水と共に生きるまちへ

- ▶ 2年で2回の災害を受け、被災された方々の**生活再建を最優先**とし、一日も早い復旧に全力で取り組みます。
- ▶ 抜本的な治水対策に加え、さらなる気候変動を見込んで、**被害を最小化**する取り組みを進め、「**床上浸水ゼロ**」をまず目指します。
- ▶ 子や孫の代まで大切な**ふるさとを守り**、「やっぱり武雄」と安心して住み続けられるよう、創造的復興に取り組みます。

11 住み続けられるまちづくりを



### ■ 現状と課題

気温 40年で約1.25℃上昇  
年間降水量、年々増加  
短時間強雨 約1.9倍  
→ 2年で2回の災害発生

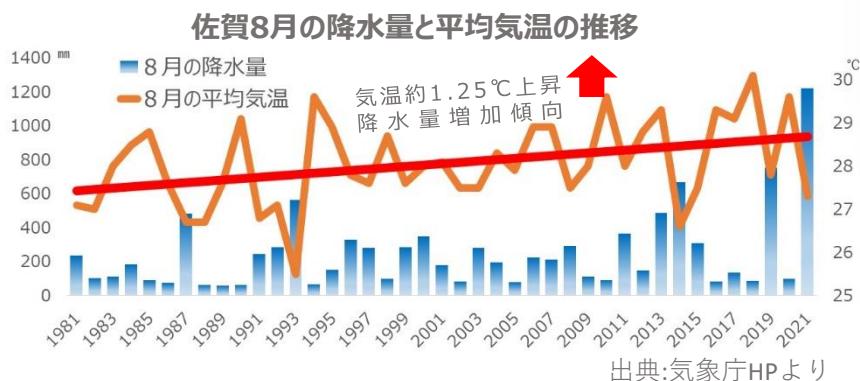
被災者への十分な支援  
抜本的な治水対策

【将来予測（約50年後）】  
気温 約4.0℃上昇  
年間降水量 微増  
短時間強雨 約2倍

気候変動に対応した  
まちづくり

### 【基本理念】

誰もが安心して  
住み続けられ、  
新たなにぎわいが  
生まれる  
創造的復興



### 基本方針② 誰一人取り残さないコミュニティの創造

- ◎ CSO(地域で活動する団体など)と連携して暮らしを支える地域づくり
- ◎ ころやからだの相談と見守りの充実
- ◎ 配慮が必要な方の避難支援強化

2



### 基本方針③ なりわいの再生とにぎわいの創造

- ◎ 被災された商・工・農業者の再建支援
- ◎ 起業家への新規ビジネス支援
- ◎ 新幹線開業から広がる地域観光でまちを元気に
- ◎ 新規就農支援、施設園芸の団地化

3



### 基本方針④ 災害に強いまちの創造

- ◎ 防災DX (被災後手続きのデジタル化、AI活用で被災状況の瞬時把握など)
- ◎ 確実に避難できる拠点確保 (公民館、車両避難所)
- ◎ さらなる静寂発信の強化 (臨時FM局整備、戸別受信機の設置促進)
- ◎ 未来へつなげる防災教育

4



### 基本方針⑤ 未来につながるまちの創造

- ◎ 2030年までに市内CO<sub>2</sub>排出量を46%削減し、環境負荷を大幅低減 (2013年比)
- ◎ 新スポーツ施設の整備と「スポーツドリームプロジェクト」
- ◎ 新幹線開業でさらなる移住定住と企業誘致

5



### 基本方針① 気候変動に対応したまちの創造

#### ■ 内水氾濫の防止

##### ▶ あるものを総動員する

- 国**
- ◎ 六角川水系緊急治水対策プロジェクトの前倒し実施
  - ◎ 六角川洪水調整池の早期完成
  - ◎ 新たな抜本的治水対策
- 県**
- ◎ 内水対策プロジェクトの推進
  - ◎ 排水機場の早期完成 (広田川)
  - ◎ 河川の整備促進 (武雄川、川添川、甘久川、松浦川)
- 市**
- ◎ ため池を治水に最大限活用 (大雨前の事前放流、貯水能力向上など)
  - ◎ 田んぼダム の普及促進
  - ◎ 内水氾濫ハザードマップの整備
  - ◎ 治水対策の専門部署を新設

要望中

要望中

#### ■ 被害の最小化

##### ▶ 住まいを守る

- ◎ 住宅のかさ上げ、高床化、浸水対策補助
- ◎ 保険や共済への加入促進 (未加入者への補助など)
- ◎ リバースモーゲージの活用支援
- ◎ 安全な場所への移転補助、官民連携の宅地造成
- ◎ 土砂災害復旧への補助

##### ▶ 「水がめ」をつくる

- ◎ 貯水機能を備えた公共空間整備 (公園など)
- ◎ 家庭での雨水貯水槽の設置促進

##### ▶ 気候変動に対応したまちをデザインする

- ◎ 大学や専門機関と組んで気候変動対応モデル都市構想 (仮) を策定
- ◎ 災害リスクの低い居住地域への誘導

1